

日本生体医工学会 平成 23 年度 第 5 回理事会

出席者

会長	副会長		理事															監事		次期理事					幹事		
田村 俊世	砂川 賢二	千原 國宏	阿部 裕輔	生田 幸士	伊関 洋	大城 理	小笠原康夫	楠岡 英雄	佐久間 一郎	佐藤 正明	篠原 一彦	嶋津 秀昭	杉町 勝	千田 彰一	林 紘三郎	牧川 方昭	湊 小太郎	山家 智之	堀 正二	橋爪 誠	石原 謙	木村 裕一	松田 哲也	山森 伸二	吉田 正樹	中村 亮一	南部 雅幸
○	○	○	○	○	○	委	×	○	○	委	委	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×

支部長							事務局
木村 主幸	山口 昌樹	松田 兼一	福井 康裕	岩田 彰	山越 憲一	梶谷 文彦	武田 伸彦
○	×	○	×	×	×	×	○

日時：平成 24 年 3 月 9 日 14:00～17:00
 於 コンベンションホール AP 浜松町 O ルーム

配付資料

- 23-5-2 第 4 回理事会議事録
- 23-5-3 平成 23 年度第 5 回理事会入退会審査対象者
- 23-5-4 専門別研究会評価委員会報告について
- 23-5-5 平成 23 年度選奨各賞選定状況
- 23-5-6-① 第 13 回臨床 ME 専門認定士認定者名簿
- 23-5-6-② 平成 23 年度臨床 ME 専門認定士更新者リスト
- 23-5-7-① 名誉会員推薦の件
- 23-5-7-② 理事・監事及び代議員選挙規程 一部改定案
- 23-5-7-③ 税務調査報告
- 23-5-8 生体医工学科連絡委員会
- 23-5-10 第 9 回生体医工学サマースクール実施案
- 23-5-11-① 編集状況
- 23-5-11-② 投稿規定、執筆要項等の改訂と制定
- 23-5-11-③ 英文電子ジャーナル紙の名称について検討資料
- 23-5-11-④ 学会誌広告費の件
- 23-5-11-⑤ Journal@rchive コンテンツ運用の一部変更について
- 23-5-12 第 51 回大会 OS, シンポ, パネル セッション一覧
- 23-5-13 IEEE EMBC2012 International Organizing Meeting in Osaka

23-5-14-① 他団体との共催・後援・協賛状況
その他（番号無し） IFMBE APWG 主催 APTF Grants 公募 選考結果について

1. 開会

出席理事〇名(委任状含む), 監事 1 名. 理事会成立.

2. 議事録承認(審 総務 湊 資料 23-5-2)

承認された.

3. 入退会状況(審・回覧 会員 湊 資料 23-5-3)

資料回覧. 承認された

4. 専門別研究会評価委員会報告について (報・審 学術 千田 資料 23-5-4)

千田理事より資料に基づき報告.

会計の取扱基準の周知・遵守・研究会開催実績の問題, 新設研究会の審議, 既設研究会の審議について報告. 開催実績 0 の研究会については OS や共催のみの実施となっている例があり. 剰余金については返納を求める.

研究会の Proceedings の著作権は学会に帰属する. 共催の場合には出資比率に応じる.

5. 平成 23 年度選奨各賞選定状況の件(報 選奨 事務局 資料 23-5-5)

事務局武田氏より報告.

論文賞については二次選考中. 他の各賞については資料の通り決定.

荻野賞の報告書について落選者の氏名が記載されているのを修正する.

6. 第 13 回臨床 ME 専門認定士の認定と平成 23 年度臨床 ME 専門認定士更新の件 (報 ME 技術教育 千田 資料 23-5-6-①②)

嶋津理事より資料にて報告. 本資格は臨床工学技士の上位資格.

本資格と関連して, ME1 種試験の合格者に本学会入会を促すアナウンスを出すことが提案され, 審議された.

- ・ 現在の 1 種保持者は約 1000 人程度の見込み.
- ・ 1 種の更新は講習会参加が必須. 学会参加は求めている.
- ・ 受験資格に学会員資格も求めているが, 元々の受験資格・合格のハードルが高い.
- ・ 学会との関わり・入会のメリットが明確では無い.
- ・ 資格の価値自体は? 難易度が高いので名誉は高いが勤務上評価には繋がっていない現状.
- ・ 資格の認定は本学会と医療機器学会により設立された委員会による. 学会が直接的に認定しているわけではない.
- ・ 資格の認定に筆答試験による知識試験で実技試験が無いが, ME に関する広い知識に基づいて機器の適切な扱いをする
- ・ 本学会が 1 種資格者, 専門認定士に対して何が出来るのか, 会員として参加すると何のメリットがあるかについて明確にすることが必要.

本件について委員会内にて継続審議することとした.

7-1. 名誉会員推薦の件 (審 総務 湊 資料 23-5-7-①)

湊理事より資料にて説明.

安藤譲二先生, 林紘三郎先生, 山越憲一先生が名誉会員として推薦され, 承認された.

7-2. 理事監事選挙規定修正 (審 総務 湊 資料 23-5-7-②)

湊理事より資料にて説明.

理事・監事選挙の規程において, 3 期以上の連続就任の排除について理事・監事を別個に規程化したところ, 理事・監事交互に連続就任した場合 3 期を超えての就任が可能となっていたため, これを修正した.

7-3. 税務調査報告(報 財務 阿部 資料23-5-7-③)

阿部理事より資料にて2月1・2日に行われた小石川税務署(新宿より小石川に管轄変更)による税務調査について報告。

移行法人期間である過去3年分(それ以前は公益法人)について調査の結果、修正計算結果の約4万円(正確には2万円台)の追加納税のみとなった。

学会大会の余剰金については収益事業とならなかったが、展示・ランチョンは「場所貸し業」となり収益事業に該当するため、今後余剰金が発生した場合は注意が必要

試験事業はかなり大きな収支があるが公益事業と認められている。公益法人への移行を早めに進めるべき。

7-4. 一般社団法人化作業の進捗状況報告(報 総務 湊・事務局 資料なし)

事務局武田氏より報告。

昨年提出後、指摘・訂正を重ねて本日3月9日に委員会に諮問されており、問題が無ければ3月23日に承認、4月1日登記となる予定。

8. 平成23年度生体医工学科連絡委員会報告および平成24年度活動方針と予算について(報・審 生体医工学科連絡 林 資料23-5-8)

林理事より報告。来年度予算として485万円(平成23年度400万円)を希望。

- ・ 予算案増加分の刊行物約120万円分については保留。平成24年度全体予算案とのバランスを考えて措置する。
- ・ 実際行っている事業は「生体医工学」全体の広報であるが、特定の「生体医工学科」のみの広報と外部に誤解されることは好ましくない。予算の組み方として委員会事業と学会の事業に振り分ける方策も考慮すべき
- ・ 分野の広報及び会員の増加に繋がる重要かつ必要な事業であるが、最大の予算規模の委員会で有り予算規模が年々増加しているので、適正な予算規模、期間、効果については考慮する必要がある。また3年・5年等の期間が設定されるのであればその期間内総額を設定するなどの方策も考えられる。

生体医工学分野・本学会全体の広報としての委員会活動に関係し以下の様な意見もあげられた。

- ・ 生体医工学科のみで無く広くこの分野を広報する形に展開、臨床工学技士、看護師などコメディカルに本学会への関心を惹きつける方策も必要。
- ・ 臨床工学技士、看護師などコメディカルに本学会への関心を惹きつける方策も必要
- ・ 企業との結びつきが弱い。強化策が必要。
- ・ EMBCは再生医学や神経科学など分野の裾野を広げて会員数が増加している。本学会は逆に例えば人工臓器や材料系などの分野は本学会から他学会への流出が多い様に感じる。機械学会バイオエンジニアリング部門は増加している。
- ・ 人工臓器学会など関連他学会との連携による分野強化が必要

この課題については今後も継続して審議する。

9. 平成24年度収支予算案の件(審 財務 千原・阿部 資料なし)

阿部理事・事務局武田氏より現状報告。

会計士より予算案の不備が指摘されたため、本理事会では予算案の提示が出来なかった。メールでの持ち回り審議を予定。

10. 第9回生体医工学サマースクールの準備状況について(報 教育 田村 資料23-5-10)

田村会長より報告。

震災の影響(電力不足・計画停電の可能性)により昨年度中止となっていたものを実施する。

11-1. 編集状況(報 編集 杉町 資料23-5-11-①)

杉町理事より報告。採択率等例年通りの結果となった。

1 1 - 2. 投稿規定, 執筆要項の改訂 (報 編集 杉町 資料 2 3 - 5 - 1 1 - ②)

杉町理事より報告.

これまでの審議に基づき英文規程含め整備.

1 1 - 3. 英文名称 (審 編集 杉町 資料 2 3 - 5 - 1 1 - ③)

杉町理事より検討資料について説明.

名称候補について意見を求める.

1 1 - 4. 賛助会員の広告について (審 編集 杉町 資料 2 3 - 5 - 1 1 - ④)

杉町理事より資料説明.

他誌に比して広告費が高いとの指摘に基づき, 維持会員について半額にすることを提案. 承認された. (参考: 維持会員費は 7 万円/一口)

広告募集を積極的に行うべきとの意見が出され, 編集担当理事や委員で対応しきれる業務では無いので, 広告代理店の導入等も含め今後検討を行う.

1 1 - 5. Journal@rchive と JST の統合 (報 田村 資料 2 3 - 5 - 1 1 - ⑤)

田村会長より報告. J-STAGE へ一本化される.

1 2. 第 51 回大会準備状況報告(報 第 51 回大会 橋爪 資料 2 3 - 5 - 1 2)

橋爪大会長より報告.

一般口演 263 演題, ポスター143 演題, OS 等上級セッションはオーガナイザーからの情報を収集中, 総計約 600 演題前後を見込む. 現在座長の選定を進めている.

総会は大会 2 日目 5 月 11 日 16:50 より.

総会前の今年度最終理事会は 5 月 9 日 15:00-18:00 に西鉄グランドホテルにて行う.

1 3. IEEE-EMBC2013 , 第 52 回大会準備状況報告(報 第 52 回大会 砂川 資料 2 3 - 5 - 1 3)

砂川大会長より報告.

2 月 22 日~24 日に実行委員会を現地にて実施. 以下の事項について検討された.

初日: 会場視察.

2 日目: 組織, Budget(円建てで参加費¥45,000(一般)¥35,000(学生), 懇親会¥10,000(一般)¥3000(学生)での実施が承認された), プログラム構成(EMBC フォーマットに準拠, 震災特別プログラム, 日本語セッション(コメディカル等対象, 1room)が了承された)

3 日目: 登録方法(抄録投稿時に Registration 必須だがこれも円建てで行うことが承認された)

予算案: 予算規模は約 2 億円, Surplus は 3000 万円を見込み, Surplus は全額 EMBS に納める.

本学会の会員は EMBC も会員価格で参加出来る(52 回大会との共催のため).

7 月 3 日に本学会の理事会を行う.

1 4 - 1. その他 協賛等の状況(報 資料 2 3 - 5 - 1 4 - ①)

資料回覧.

1 4 - 2.

IFMBE APWG 主催 APTF Grants 選考結果について佐久間理事より報告.

3 名の応募者から受賞者として中村亮一(千葉大学)を選出.

以上